

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90224	琉球音楽論研究	4単位 通年	1・2	講義	金城 厚

■テーマ

昔節を知る

■授業概要

琉球古典音楽の構造理論について明らかにする。楽譜（工工四）について、書誌的、歴史的、音楽論的な問題を検討することによって、古い伝承を正しく理解し、あるいは、現代の演奏を批判的に考察する。また、その応用として、新しい作品を生み出すことをめざす。

■学習目標

前期は、古典音楽の構造理論と作曲技法を理解し、これにもとづいて、昔節様式の楽曲を作曲し、演奏すること。とくに、三線部分の楽曲構造を正しく理解できて、譜面上に実現できていることを重視する。

後期は、工工四理論にもとづいて、昔節様式の楽曲を作曲し、演奏すること。とくに、歌の部分、節・吟の動きの理論がしっかり理解できて、譜面上に実現できていることを重視する。また、琉球古典音楽の五線譜化を通して分析する方法を学ぶ

■授業計画・方法

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 《かぎやで風節》の分析 | 16. 琉球古典音楽の音階と拍子 |
| 2. 御前風様式の音楽構造 | 17. 旋律の形式：御前風様式から |
| 3. 《かぎやで風節》と《花風節》の比較 | 18. 旋律の形式：仲風の場合 |
| 4. 《かぎやで風節》と《稲まづん節》の比較 | 19. 旋律の形式：昔節様式の場合 |
| 5. 昔節の音楽構造 | 20. 旋律の形式：伝承のない楽曲 |
| 6. 早間・本間・長間について | 21. 工工四の読み方、基本的視点 |
| 7. 本間の楽曲を作る | 22. 「屋嘉比朝寄工工四」からの変遷 |
| 8. 長間の楽曲を作る①全体構造の見通し | 23. 富原守清『琉球音楽考』について |
| 9. 長間の楽曲を作る②上の句 | 24. 三線の手と声楽の動きの相関 |
| 10. 歌詞を選ぶ | 25. 昔節の様式の作品創作について |
| 11. アゲとサゲの技法について | 26. 三線と歌の相互関係の検討① |
| 12. 長間の楽曲を作る③下の句 | 27. 三線と歌の相互関係の検討② |
| 13. 早間の楽曲を作る | 28. 三線と歌の相互関係の検討③ |
| 14. 楽譜（工工四）の書法について | 29. 作品の検討 |
| 15. 演奏の確認
試験（発表会） | 30. 演奏の確認
試験（発表会） |

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

毎回の自習課題の確実な実施が肝要である。自習として、授業で説明された通りに自分で分析表に書き込んでみることも、また、自分で楽譜（工工四方式、または五線譜）を書いてみることも不可欠である。

■成績評価の方法

自作品の譜面（工工四）提出（50%）、同作品の公開演奏（30%）、日常の授業で課する自習課題の確実な実施（20%）
芸術文化学研究所の学生には、より深い学術的な理解が求められる。

■教科書、参考文献等

□教科書

金城厚『沖縄音楽の構造—歌詞のリズムと楽式の理論—』第一書房
大湾清之『琉球古典音楽の表層』アドバイザー

□参考書

ロビン・トンプソン『琉楽百控』榕樹社